with YOU
ウィズ・ユー
平成24年5月
Vol.21
発行/熊本市教育委員会

政令指定都市「熊本」誕生

●教育都市熊本の教職員像の実現

～人間的な魅力にあふれ、夢と情熱をもって「くまもとの人づくり」をリードする教職員～

教職員全員がこの教職員像を共有し、資質や能力を高め、次代を担う子どもたちの育成に生かしていくことで熊本市教育の充実に努めていきます。

教育都市熊本の教職員像

～人間的な魅力にあふれ、夢と情熱をもって「くまもとの人づくり」をリードする教職員～

1　いつの時代も求められる資質や能力

(1)豊かな人間性をもち、人権感覚にすぐれた教職員
(2)教育者としての強い使命感と誇り、高い倫理観をもった教職員
(3)教育的愛情をもち、子どもたちから信頼される教職員
(4)幅広い教養と専門的な知識に基づく実践的指導力をもった教職員

2　今、時代が特に求める資質や能力

(1)広い視野をもち、社会の変化に対応して課題を解決できる教職員
(2)社会性と高いコミュニケーション能力をもった教職員
(3)組織の一員として責任感をもち、互いに高めあい協働する教職員
(4)熊本を愛し、保護者や地域の人々に信頼される教職員

問い合わせ先:教職員課　TEL:328-2720

熊本市立小・中学校教員募集!!

平成25年度採用から熊本市独自で教職員の採用を行います。採用においても、熊本市の求める教職員像をもとに、市の教育を担うにふさわしい人材を採用していきます。

●教師塾「きらり」開講～若手教員を応援する事業～

熊本市教育委員会は、教職採用4年目から10年目までの小中学校教諭を対象に、授業の腕をもっと磨きたいと思っている先生方のために、熊本市教師塾「きらり」を開講します。

活動期間は1年間です。

塾生となった先生方は、先輩教員や授業名人と言われる方々から、授業や実技講座を通して、教育に対する情熱や指導技術を受け継ぎます。そして、教師塾で学んだ知識や技術を生かして、子どもたちへ「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を伝えます。

問い合わせ先:教育センター　TEL:359-3200

Check! ●教育委員会の広報誌は熊本市のホームページでも見ることができます●

お問い合わせ先　〒860-8601　熊本市中央区手取本町1-1 熊本市教育委員会教育政策課
TEL 328-2703　FAX 359-6951　e-mail:kyouikuseisaku@city.kumamoto.lg.jp
アドレス　http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/（トップ→学び・観光・スポーツ→教育・学校→教育広報誌「with you」）

●熊本博物館開館60周年記念　平成24年度特別展
『肥後の博物学・科学技術―細川重賢の本草学から近代テクノロジーへ―』

期　日　開催中～6月10日（日）まで　月曜日休館（祝日の場合は翌日）
時　間　9:00～17:00まで（ただし、博物館の入場は16:30まで）
会　場　熊本博物館特別展示室
入場料　無料。（ただし、博物館入場料は必要）

熊本市は今年の4月に政令指定都市となり、その記念すべき年に熊本博物館は開館60周年をむかえました。そこで肥後藩の財政立て直しを行ない、肥後の博物学の祖でもある細川重賢が関心を持った本草学・博物学の歴史について振り返ります。

重賢は本草学を奨励し、熊本の博物学の基礎を築いた人物です。彼の興味・関心を導入として、江戸時代から明治時代にかけて生まれてきた近世・近代の博物学・科学技術を紹介しております。

ぜひ、この機会にご来館ください!

問い合わせ先:熊本市立熊本博物館　TEL:324-3500

●恐竜展2012 in 熊本

期　日　平成24年7月21日（土）～9月23日（日）　月曜日休館（祝日の場合は翌日）
時　間　9:00～17:00まで（ただし、博物館の入場は16:30まで）
会　場　熊本博物館1階理工展示室
内　容　熊本県とモンタナ州の姉妹提携３０周年、そして政令指定都市熊本誕生を記念して、モンタナ州立ロッキー博物館の恐竜の化石等の展覧会を開催します。
入場料　未定

問い合わせ先:TKUテレビ熊本事業局　TEL:351-1140

●学校支援ボランティア～学校は地域の方々の力を必要としています～

熊本市教育委員会では、平成12年度から、市立小中学校において、地域の方々に学校における様々な教育活動に関わり支援いただく「学校支援ボランティア制度」を行っています。平成22年度には、のべ33,000人を超える地域の方々に活動を行っていただいています。これからも、学校・地域が一緒になって、子どもたちにとってより良い環境づくりができるよう「学校支援ボランティア活動」の推進を図っていきます。

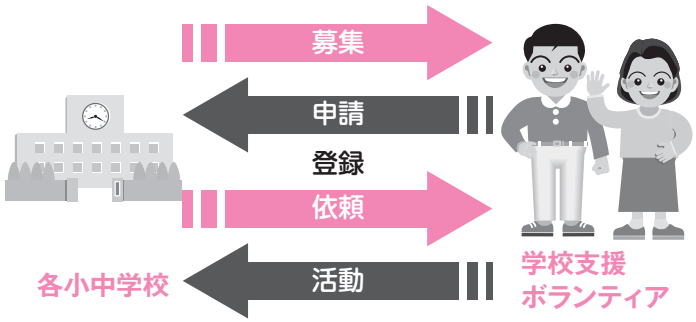
活動内容

○学習支援ボランティア
伝承遊びの指導　歴史体験講話
農業活動の体験支援　クラブ活動の手伝い

○読書活動支援ボランティア
朝自習での読み聞かせ　本の整理等の手伝い

○学校管理支援ボランティア
校内清掃　樹木、花壇の手入れ
登下校時の安全指導、地域パトロール　など

登録から活動までの流れ



問い合わせ先:学務課　TEL:328-2716

●町屋を活用して販売実習と交流会

昨年12月23日（金）、新町にある元海産物問屋の「かね屋」をお借りして、販売実習を行いました。生徒が商品を仕入れ、販売する商業教育の取り組みですが、「千原台商店」として今回初めて校外で開催しました。当日は500人のお客様にご来店頂き、シクラメンとポインセチアを販売しました。あわせて奥の蔵で上映会を実施し、生徒作品の「新町・古町・城下町観光CM」などをお客様に見て頂きました。

夕方からは地元商店主さんたちと新町・古町地区に残る町屋の活用方法や町の展望について議論し、地域の学習を深めることができました。

今後も地域のみなさまとともに生徒を育てる取り組みを、商業教育や地域理解をとおして行っていきたいと考えています。

問い合わせ先:熊本市立千原台高校　TEL:355-7261

●書道パフォーマンスで町や人に元気を!

必由館高校芸術コース(各学年1クラス)は、書道・音楽・美術の3部門で構成しています。うち書道（系）の生徒は、平成24年1月1日（元日）、桜町にある県民百貨店前で『書道パフォーマンス』を行いました。

昨年は、4月に『高校生書道パフォーマンス（新市街アーケード）』、10月に『ねんりんピック熊本大会開会式（KKWING）』などでも実施しました。

生徒は、授業では書道の歴史、書体などを学び、放課後は、毎日約2時間、書道の鍛錬を行っています。日々鍛錬しているものの、いつもの静かな環境（教室）とは違うたくさんのお客様の前という緊張感の中、１回で書を完成させることはたいへん難しく、またパフォーマンスの派手さが目立ちますが、実は、大筆の使い方や皆との間合いなど技術的なものがたくさん求められます。このような取り組みを通して、日頃の学習の成果を生かす実践の場として、地域社会にも貢献できればと考えています。

問い合わせ先:熊本市立必由館高校　TEL:343-0236

●青少年国内・国際交流事業を実施しています

国内外の友好姉妹都市及び九州内の都市と青少年交流活動を通して、親善を深めるとともに、次代を担う青少年リーダーを育成しています。

（大分大会　派遣）
平成24年8月8日
～10日

（受入）
平成24年7月30日
～8月3日

（派遣）
平成24年7月31日
～8月9日

（受入）
平成24年8月2日～5日
（派遣）
平成25年1月11日～14日

問い合わせ先:青少年育成課　TEL:328-2277

●特色ある教育の推進

■ブラッシュアップイングリッシュ

今年度から、中学校の新学習指導要領が全面実施となり、外国語の授業時数が、週3時間から4時間に増えることに伴い、全中学校にデジタル教科書を導入いたしました。デジタル教科書によって、電子黒板等で教科書の内容や動画が提示でき、テンポのよい繰り返し学習が可能となり、基礎・基本の定着を図ることができると期待しています。

また、外国語指導助手のALTとのティームティーチングや、ALTとの活動を充実することで、子どもたちの英語に対する意欲、関心を高め、英語力の向上をめざします。

さらに、小学校外国語活動の新教材 “Hi, friends!” に対応した英単語絵カードを作成しました。授業で楽しく英語に慣れ親しみ、中学校外国語へスムーズに接続できるように、全小学校に配付しています。

■ナイストライ事業

全中学校の2年生が、「ナイストライ事業」として、地域の様々な事業所や施設などで、職場体験に取り組んでいます。

この事業は、子どもの勤労観・職業観や感謝する心などの豊かな心を育み、主体的・実践的な態度を培い、子どもたちの “生きる力” を育成することをねらいとしています。

【平成23年度の実績】

(1) 実施生徒数	中学校42校・2年生6,775人
(2) 実施期間	3日間～5日間
(3) 事業所数	延べ2,125事業所
(4) 指導ボランティア数	延べ2,634人
(5) 事業所種別	販売／幼稚園・保育園／飲食店／公共施設等

■学びノート・学びノート教室

ぜひ身に付けてほしい基礎・基本の問題集「学びノート」を作成し、地域の方々や大学生に「学びノートサポーター」としてご協力いただき、小学校3年生以上の学年で、希望者を対象に「学びノート教室」を開催しています。

学びノート作成教科

＜小学校＞

国語・算数・社会・理科

＜中学校＞

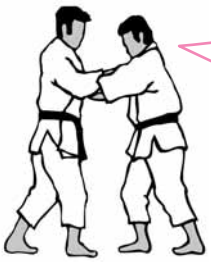
国語・数学・社会・理科・英語

※小学校の国語・算数は全児童に1冊ずつ配布。他は印刷用DVDを各学校に配布。

問い合わせ先:指導課　TEL:328-2721

●武道・ダンスの必修化

安全で楽しい授業を目指します!



学習指導要領の改訂に伴い、平成24年度から中学校の体育の授業において武道・ダンスが必修化されます。武道の必修化は、礼儀作法を身につけ相手を尊重する心を養うとともに、柔道や剣道を通して我が国固有の伝統や文化に触れることを目的としています。

「安全対策は？」

・生徒の実態に応じて、無理なく段階的に授業を進めていきます。
・柔道の試合を行う際は、頭部を守るためヘッドギアを着用します。
・指導者の研修を実施し、安全な授業づくりに努めます。

問い合わせ先:健康教育課　TEL:328-2728

●熊本市の学校給食

栄養改善を目的に始まった学校給食ですが、現在では献立を「生きた教材」として、食育の推進に活用しています。学校給食をとおして健康な身体をつくり、さまざまなことを学びます。

平成23年度

献立コンクール最優秀賞作品

★小学生の部
肥後ミックスベジタブル!

市内全校で実施されました!

★中学生の部
体あったかヘルシー献立

保護者の皆様が支払われる給食費で、日々の給食が成り立っています。学校給食費の速やかな納付にご協力いただきますようお願いします。

問い合わせ先:健康教育課　TEL:328-2728

●熊本市子どもフォーラム

熊本市教育委員会では、「熊本市子どもフォーラム」を次の3つの目的のもとに開催しています。

①「児童の権利に関する条約」の周知
②おとなを交えた会における子どもの意見表明の機会の確保
③子どもフォーラムで出た意見の具体的活動としての実践

平成24年度は、藤園中校区・西山中校区・江南中校区・江原中校区・三和中校区・東部中校区・西原中校区・東町中校区・清水中校区・井芹中校区・天明中校区・下益城城南中校区・鹿南中校区の13中学校区（44小中学校区）で開催する予定です。

保護者・地域の方の参加をお待ちしております。

平成23年度の様子

問い合わせ先:人権教育指導室　TEL:328-2752

●学校支援体制の充実

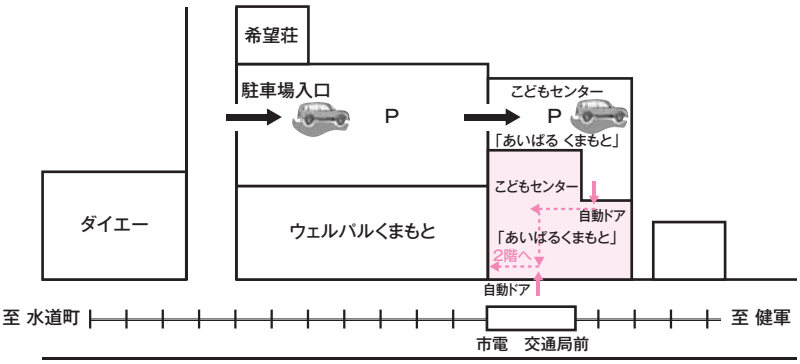
～教育相談室のご案内～

こどもセンター「あいぱる くまもと」2階教育相談室では、小・中・高校生の発達や就学、いじめや不登校などに関する相談をお受けします。就学相談については、次年度小学校入学予定の子どもさんの相談からお受けしています。

こどもセンター「あいぱる くまもと」は、「ウェルパルくまもと」隣の交通局跡地に新築された一部5階建ての建物です。1階には障がい者福祉相談所、3・4階には児童相談所があります。教育相談室は、2階です。教育相談室は、平成24年4月、教育センターから移設されました。

「あいぱる くまもと」全景
〒862-0971
熊本市中央区大江５丁目１番 50 号

こどもセンター「あいぱる　くまもと」2階 教育相談室への入館ルート



建物入口は、→ の２箇所です。
※建物内では、点線 - - - → のように進み、階段またはエレベーターで
２階　教育相談室　にお上りください。
※駐車場でお取りになった駐車券は、２階受付にお持ちください。

◆来所相談

教育相談室にお出でいただいての相談をお受けします。話をお伺いし、相談者の方と一緒に今後の対応について考えます。

月～金曜日　　9:30～15:45（無料、要予約）
予約電話　　096-362-7070（月～金曜日　9:00～17:15　祝日、年末年始を除く）

◆フレンドリー（適応指導教室）

不登校の子どもが同年代の子どもと交流、学習できる教室です。スポーツ活動、パソコン、仲間づくり活動、ものづくり活動、所外での体験活動及び教科の学習などを行っています。バスハイキングや宿泊キャンプなども行います。

月・水・木・金曜日　9:30～15:00　火曜日　9:30～12:00
（祝日、年末年始及び春・冬休み期間を除く）

※「フレンドリー」以外の活動の場として、「火の君学級（城南町）」「スクーリングアップ教室（植木町）」もあります。

問合せ電話　　096-362-7070（月～金曜日　9:00～17:15　祝日、年末年始を除く）

◆熊本市立の小・中学校と連携しながら次のような相談活動を展開しています。

※ユア・フレンド

熊本大学教育学部の学生が、家庭や学校で不登校児童生徒の話し相手になります。昨年度は、ユア・フレンドとして、159人の学生が175人の子どもの話し相手になりました。今年度も同等の規模で活動予定です。

※スクールソーシャルワーカー

精神保健福祉士や社会福祉士による相談活動を行います。いじめや不登校などの予防・解決のために、児童生徒をサポートします。昨年度は、291人の子どもについての相談をお受けしました。今年度は、4人のスクールソーシャルワーカーが活動します。

※スクールカウンセラー

学校で専門的なカウンセリング等を行い、さまざまな問題の解決を図ります。昨年度は、2657件の相談をお受けしました。今年度は、24人のスクールカウンセラーが活動します。

※心のサポート相談員

児童生徒や保護者の話し相手・相談相手になり、悩みやストレスを和らげます。昨年度は、8641件の相談をお受けしました。今年度は、67人の心のサポート相談員が活動します。

問い合わせ先:教育相談室　TEL:362-7070